

アイランドからの贈り物



photo Anne Gerhardt

パット・オコナー (Pat O'Connor) フィドル

最も伝統音楽の盛んなアイランド西部クレア州、エニスに生まれる。

幼少の頃より音楽に親しみ、ピアノアコーディオン、バンジョー、マンドリン、ブズーキなどの楽器をこなすうち、生涯の楽器となるフィドルに出会う。

93年、母の故郷に近い伝統音楽の宝庫クレア州フィークル村に移り住み、多くの音楽家たちと衝撃的な出会いをする。

その後みるみる頭角を現し2000年に初のソロアルバム、2004年にセカンドアルバムを発表、現在この地域を代表するフィドル奏者の一人。

シンプルでありながらクレア東部のゆったりとした演奏スタイルに忠実なフィドル奏法、

特にその弓使い(ボウイング)には天性のリズム感と歯切れの良さが映え、

オリジナリティーのある音楽世界を作り上げている。

パブやステージで幅広い演奏活動をするかたわら、フェスティバルなどでフィドルの講師を務める。

エニスを中心にフィドルのレッスンを展開、カスティーズミュージックショップのスタッフとしても知られる。

エニス音楽学校ウィーンキョール (Maoin Cheoil) フィドル部門講師。

リムリックヴァイオリン製作学校在籍、コースを修了。現在フィドルの修理を手がけるフィドルのエキスパートでもある。

オーイン・オサリヴァン (Eoghan O'Sullivan) アコーディオン／ギター

アイランド南西部コーク州、ミッチェルズタウン出身のボタンアコーディオン奏者。

フィドルを弾く父に習い6歳の頃よりアコーディオンを弾き始める。

コークの音楽シーンにおいて一躍注目を浴びようになり、現在ではコーク屈指のアコーディオン奏者に数えられる。

アコーディオンにとどまらず、ギター、フルート、ホイッスルとあらゆる楽器を高度にこなす

マルチインストルメンタリストでもある。

Gerry Harrington、Paul de Graeとのトリオとして1996年に発表されたアルバム「The Smoky Chimney」は、近代アイランド伝統音楽の歴史に残る必聴の名盤。

Connie O'Connell、Jackie Dalyらと共にアイランド南部コーク／ケリーの音楽スタイルの貴重な継承者であり、これらの地域を中心に演奏活動が続けながら、アコーディオン講師として数々のフェスティバルに迎えられている。

天才的ともいえるリズム感に特徴のある演奏は、曲のスピードにかかわらず躍動感を失わない。

小学校教諭を経て現在は地元ミッチェルズタウンでさまざまな楽器を対象にしたレッスンを主催、

地域に密着した音楽の普及に貢献している。

オープニングアクト LeapRick



6月16日 fri.

開場19:00 / 開演19:30

前売2,500円 / 当日3,000円(1ドリンク付き)

喫茶壱番館

岡山市北区表町3-9-22

086-233-1560

お問合せ・ご予約 090-1017-5718 (LeapRick 桐山)